

エルサルバドル政治経済月報 (2023 年 2 月分)

2023 年 3 月
在エルサルバドル大使館

内政

1. ブケレ政権に係る世論調査（報道：ディアリオ・エルサルバドル）

CID Gallup 社が 2023 年 1 月 16 日から 27 日にかけて行った、ブケレ政権に係る世論調査（18 歳以上の 1,200 人のエルサルバドル人を対象）によれば、90%がブケレ大統領を支持、96%はブケレ政権の治安対策を評価、また 84%は当国が正しい道に進んでいる旨回答した。支持政党については、39%が政権与党の新思想党（NI）、3%が国民共和同盟（ARENA）、2%がファラブンド・マルティ民族解放戦線（FMLN）と回答した一方で、59%が支持政党はない旨回答した。

2. 民主主義指数の発表（報道：エル・ムンド）

英国「The Economist」紙傘下の研究所、エコノミスト・インテリジェンス・ユニット（EIU）が毎年発表している民主主義指数の 2022 年版において、エルサルバドルの指数は 2021 年の 5.72 点（10 点満点で 10 点が最も良い）から 5.06 点に悪化し、2021 年同様、当国は「混合政治体制」に分類される結果となった。

3. ブケレ大統領の連続再選に係る世論調査（報道：エル・ムンド）

フランシスコ・ガビディア大学（UFG）が 2023 年 2 月 4 日から 8 日にかけて行った、ブケレ大統領の連続再選に係る世論調査（1,263 人のエルサルバドル人を対象）によれば、連続再選に賛成が 62.2%、反対が 19.0%、迷いがあると回答したのが 13.9%、無回答が 4.9%であった。

4. 国会議員の定数削減及び地方自治体の削減に係る動き（報道：エル・ムンド及びエル・ディアリオ・デ・オイ）

2 月 20 日、カストロ国会議長は当地討論番組（Frente a Frente）に出演し、政権与党の新思想党（NI）が当国国会議員の定数削減及び地方自治体数の削減に係る法案を提出する可能性が非常に高い旨明らかにし、具体的には、現在の国会議員の定数 84 議席を 64 議席、262 ある地方自治体を 50 前後に統合して削減することを検討している旨述べた。

外交

1. トルコ地震へのエルサルバドル政府による支援（報道：ディアリオ・エルサルバドル）

(1) 2 月 6 日、ブケレ大統領は、トルコの人々の安全と幸福を祈りつつ、エルドアン大統領に対して必要な支援を提供する旨表明し、エルサルバドルは 100 名以上の人員を乗せた救急飛行機を派遣する旨トルコ語で自身のツイッターに投稿した。

(2) 2 月 8 日、エルサルバドル議会は、与党新思想党（NI）ゲバラ議員のイニシアチブによって、今回のトルコ地震の被災者及び犠牲者に対する連帯を表明する決議を採択した（賛成 75 票）。

(3) 2 月 9 日、ブケレ大統領は、前日 8 日にエルサルバドル USAR (Urban Search And Rescue) がトルコへ向けて出発した旨を公表した。出発式にはメリノ国防大臣、ビデガイン総務大臣、アラビ保健大臣が空港に集結し、USAR を構成する 111 名の隊員及び 3 頭の救助犬の出発を見送った。こ

の出発式にはブケルセン駐エルサルバドル・トルコ大使も出席し、トルコ政府の名の下に感謝を表明するとともに、エルサルバドルからの人道部隊を歓迎する旨コメントした。

(4)2月14日、エルサルバドル議会はトルコで救助活動にあたっている USAR、FOSALUD（保健のための連帯基金）、エルサルバドル陸軍に対する特別表彰及びトルコに対する1.7トンの医療機材、3.3トンの医療資材の供与を決定した。USARから派遣隊は、9日のトルコ到着以降、被災者の捜索・救助・避難といった活動に尽力しており、カフラマンマラシュ県にて地震発生後150時間もがれきの下に埋もれていた5歳の子ども一人と30歳の女性一人を救助するなど活躍を見せていた。なお供与された医療機材は人工呼吸器40台、シリンジポンプ50台、バイタルサインモニター5台、小児用鼻腔カニューレ5,000個、デジタル体温計50台等が含まれ、また、医療資材はマスク、注射器、ゴム手袋、医療防護服、個人衛生キット等が含まれている。

2. ブケレ大統領の外遊日程（報道：ラ・プレッサ・グラフィカ）

2月21日、当国国会はブケレ大統領の2023年第3四半期までの外遊日程を以下のとおり承認した。

(1)第1四半期（1月-3月）

ア ドミニカ共和国（国賓訪問）

イ イタリア（公式訪問）

ウ スペイン（公式訪問）

(2)第2四半期（4月-6月）

ア 韓国（公式訪問）

イ 中国（国賓訪問）

ウ シンガポール（公式訪問）

エ 第57回 SICA 首脳会談（ベリーズ）

(3)第3四半期（7月-9月）

第78回国連総会（米国）

経済

1. IMFによる2023年の当国経済見通し（報道：ラ・プレッサ・グラフィカ及びエル・ムンド）

国際通貨基金（IMF）は、2023年の当国の経済見通しをプラス1.7%と予測し、昨年10月の前回見通しを維持する形となった。なお、当国の経済見通しは、中米諸国において最も低い結果となった（注：ドミニカ共和国：プラス4.3%、パナマ：プラス4.0%、ホンジュラス：プラス3.5%、グアテマラ：プラス3.4%、ニカラグア：プラス3.0%、コスタリカ：プラス2.9%）。

2. 2022年のコーヒー輸出額及び輸出量（報道：エル・ムンド）

エルサルバドル中央銀行の発表によると、2022年の当国コーヒー輸出額は、1億7,797万ドル（前年比プラス59.2%、プラス6,597万ドル）を記録し、2013年以降で最高値となった。またコーヒー輸出量においては、73万8,000キントル（約3,392万kg）（前年比プラス16.2%）を記録し、右は2010年以降で最高値となった。当国のコーヒー輸入国上位5か国は、米国（48%）、ベルギー（9%）、サウジアラビア（7%）、日本（4%）及びイタリア（4%）であり、全体の70%を占めている。

3. 日本企業ウッドベリー社の当国訪問（外務省プレスリリース）

(1)2月6日の週、日本企業ウッドベリー・コーヒー社の代表団が、エルサルバドル産コーヒーの輸入に係る実地調査及び新たな交渉のために当国を訪問した。同社の当国訪問は昨年に続き二回目であり、昨年は同社が買い付けたコーヒー豆が日本で荷揚げされた。また同社は、今回の訪問で5トンの買い付けを目指している。

(2) ウッドベリー・コーヒー社の佐藤調達部長は、「様々な団体及びコーヒー生産者が親切に説明してくださり、彼らの仕事もを見せていただいた、実際に直接見ることはとても重要である、なぜなら、コーヒーの買い付けにおいての信頼が増すからである」と述べるとともに、エルサルバドル産コーヒーの品質の高さを評価した。

4. 中国との FTA に係る主要輸出関連団体の見解（報道：エル・ムンド）

中国・エルサルバドルの FTA 交渉に関し、クエジェル・エルサルバドル輸出業者協会（COEXPORT）総裁は、交渉をする上でローカル企業が排除されないよう考慮する必要があるとし、（中国からの）輸入が増加し関税措置が撤廃・削減されれば、当国の生産力に打撃を与える旨指摘した。

5. 2023 年 1 月期限の 8 億ドルのユーロ債償還（報道：主要各紙）

1 月 23 日夜、ブケレ大統領は自身のツイッターを通して、当国政府が本年 1 月に期限を迎える 8 億ドルのユーロ債（注：2 回の早期償還を昨年を実施しており、今回の支払は、残りの 6 億 410 万ドル及び 2,340 万ドルの利し）全てを償還した旨発表した。

6. 2022 年輸出額の発表（報道：ディアリオ・エルサルバドル）

(1) 2022 年 1 年間の輸出額は、71 億 1,511 万ドル（前年比プラス 11.3%）に到達し、製造業における輸出額が 63 億 9,490 万ドル（前年比プラス 10%）、農牧業、林業及び漁業における輸出額が 2 億 3,360 万ドル（前年比プラス 34.7%）、エネルギー部門が 3,996 万ドル（前年比プラス 1,860.2）%を記録した。

(2) 国別の輸出額では、対米国が 27 億 5,939 万ドル（前年比プラス 6.5%）、対中米地域が 31 億 9,825 万ドル（注：対グアテマラ：12 億 1,328 万ドル（前年比プラス 13.1%）、対ホンジュラス：11 億 8,475 万ドル（前年比プラス 12.3%）、対ニカラグア：4 億 9,673 万ドル（前年比プラス 7.9%）、対コスタリカ：3 億 349 万ドル（前年比プラス 15.4%）を記録した。